

# JPF Flash Report | 熊本地震

JPF/NGO対応「九州地方広域災害被災者支援」2016年5月16日



JARの避難所調査事業とPWJの避難所支援事業。現場では、JPFと加盟NGO、他支援団体、行政、自治体などが日々連携しながら活動する ©JPF

## JPF事務局対応

JPF事務局は、本震の16日に「九州地方広域災害被災者支援」として出動を決定。同16日に2名体制で現地にスタッフを派遣し、その後約3週間にわたり、広域化した被災の状況把握や、支援体制の把握、JPF加盟NGO間の連携調整の必要性の見極め、企業との物資マッチングなどの調査をし、加盟NGOや支援団体と情報共有、連携しながら、支援をつないできました。

初動対応の結果をもとに、企業・団体・個人の皆さまからお寄せいただいた寄付より、これまでに11団体14事業を実施（5月13日現在、10事業実施中、1団体審査中）。続々と加盟NGOの本格的な支援活動に助成を決定し、支援事業を実施中です（次ページ活動地図参照）。

長期化する避難生活において、洗濯機など家電類のニーズが上がっており、JPFでは各企業との連携により、現場ニーズと企業サービスをつなげています。

今後、社会的弱者や高齢者など、生活再建が困難な方々の避難生活の長期化が予想され、緊急期の応急的な対応から、生活再建に向け被災者に寄り添うかたちでの支援方針が求められます。引き続き情報把握と連携に努め、各加盟NGOが、特に公的支援が届きにくい地域、テーマにおいて、民間だからこそできるきめ細かい人道支援を行うために、支援プログラム終了まで尽力していきます。

4月14日9時26分に発生したM6.5の余震と、4月16日1時25分のM7.3の本震発災から約一ヶ月が経過しましたが、未だ住民は不安な夜を過ごしています。

## 5月16日の状況

これまでに69人が死亡し、行方不明者は1名です。震災後、負傷の悪化や身体的負担による疾病による死者が20人発生しています。現在も10,305人が避難生活を続けており、断水が続いている世帯は2,300世帯です。

学校再開に伴い、避難所の統廃合が行われ、被災者や避難所の運営者の疲労がピークに達しています。

熊本市では拠点避難所を選定し、NPOとともに避難所のレイアウト作り等に取り組んでいます。拠点避難所によっては、避難者が希望していても、希望の避難所に入れない可能性があります。また、避難所の運営は、外部支援団体がサポートを行っているケースもあり、各避難所の自主的運営を目指す運営体制の整備がされ始めています。

応急仮設住宅の建設が始まり、13市町村で1,728戸が着手済みです。その他建設に向けた協議を行っている市町村は2町あります。完成は6月中旬から下旬を予定しており、避難所での生活が長期化される方が出てくる見込みです。

車中泊の避難者は減少傾向にあるものの、実態把握が困難です。現在、地元支援団体や生活支援等に強みを持つ全国組織のネットワークにより、車中避難者の実態調査の動きも始めています。

被害の大きかった地域では被害調査が完了せず、公的支援を受ける為に必要な罹災証明の発行が遅れています。

GWが終わり、ボランティアは不足傾向です。災害ボランティアセンターではボランティアの受け入れ強化に向けて、運営体制の強化と情報発信を続けています。

## 被害概況(5/16 16:30)

【死者:69人】

(震災後、負傷の悪化、身体的負担による疾病による死者20人を含む)

【避難所:

234箇所(24市町村)】

【避難者数:10,305人】

【住家被害状況:85,506棟】

(全壊、半壊、一部破損を含む)

【断水戸数:約2,300世帯】

断水が続いている地域があります。

【罹災証明

受付件数:103,477件

交付件数:30,682件】

罹災証明書の発行に時間がかかっています。

【公立小中学校は29市町村、371校が被災しています。】

主な被害は給水管や、壁などの破損です

熊本県内全ての公立学校は、5/11日時点で開校しました。

参照元:

(2016/5/16 16:30発表)

政府現地対策本部会議、

熊本県災害対策本部

会議資料

[http://www.pref.kumamoto.jp/kinkyu/pub/default.aspx?c\\_id=2](http://www.pref.kumamoto.jp/kinkyu/pub/default.aspx?c_id=2)

# 九州地方広域災害被災者支援 JPF加盟NGO活動状況



<b>AAR</b>	<b>HuMA</b>	<b>JAR</b>	<b>OBJ</b>	<b>SCJ</b>	<b>WVJ</b>
益城町： 初動調査 物資配布	益城町,南阿蘇村： 医療支援	宇城市： 避難所運営支援	益城町： 物資,食糧配布	益城町： 子どもの保護、防災	益城町：食糧・物 資配布,子ども支援
熊本市,西原村： 物資配布	益城町,南阿蘇村： 初動調査	熊本県：初動調査	<b>PBV</b>	益城町：子ども支援、 防災	<b>JPF</b>
<b>ADRA</b>	益城町：医療支援	<b>JEN</b>	益城町:食糧支援、 避難所支援	<b>SEEDS</b>	
熊本市： 初動調査,医療支援	<b>HFHJ</b>	熊本市:入浴サービ ス,物資支援	<b>PLAN</b>	宇城市：初動調査	被災地全域： 初動調査
<b>CF</b>	西原村： ボランティアセン ター支援	熊本市 南阿蘇村： 食糧支援	熊本市： 社会心理的サポート	<b>SVA</b>	<b>JPF助成事業</b>
益城町 南阿蘇村： 捜索救助 益城町： 避難所支援	<b>JAFS</b>	<b>JH</b>	<b>PWJ</b>	熊本市 益城町： 食糧支援	
<b>GNJP</b>	益城町： 避難所運営支援	熊本市： 初動調査 医療支援	益城町：避難所支援	<b>TMN</b>	活動準備～実施中
南阿蘇村： ボランティアセン ター支援	熊本市,南阿蘇村： 初動調査、食糧配布	<b>JRA</b>	益城町,南阿蘇村： 捜索救助	熊本市 阿蘇市： 食糧支援、 用水路補修	支援終了
		益城町 南阿蘇村： 捜索救助 熊本県：被災動物 支援	<b>RJP</b>	<b>WP</b>	加盟団体自己資金、 他資金による事業
			熊本市：母子支援	益城町：食糧支援	

※上記の団体名は略称です

AAR:難民を助ける会、ADRA:ADRA Japan、CF:CIVIC FORCE、GNJP:グッドネーバース・ジャパン、HuMA:災害人道医療支援会、HFHJ:ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン、JAFS:アジア協会アジア友の会、JAR:難民支援協会、JEN:ジェン、JH:ジャパンハート、JRA:日本レスキュー協会、PBV:ピースボート災害ボランティアセンター、PLAN:プラン・ジャパン、PWJ:ピースウィンズ・ジャパン、OBJ:オペレーション・ブレッシング・ジャパン、SCJ:セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、SEEDS:SEEDS Asia、SVA:ボランティア国際ボランティア会、TMN:遠野まごころネット、WP:わかちあいプロジェクト、WVJ:ワールド・ビジョン・ジャパン、JPF:ジャパン・プラットフォーム

(2016年5月16日現在)